



一鞠謹啓江波書白宴

料峠並馬清穉在太

賢長降ヨハ生ヨシ 毎々一姓

在良問世将馬あ急はら

陸良

借依が之名之縁負陸陸陸年也

陸く一姓を以て陸若所長

不れ替面白からざる結平、長

先年関清吳一たび家治を境

亂世一以来陸陸陸の腐敗等

と逐つて是無是一くお成りあめ

何ぞ十秋の志、進で候福たら

んと祈する者乞之百、方好古勵

陸、十二名を得其れ九名

常陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸



可なりおの志に遂で候福たら
んと欲する者乞へる方好古勵
僅に十二名を得其れ九名
常盤一隊は足利乞へ候者三
の一も乞へるに才に絶望の操
中望に得共申立の者も三四名
有之且教は頗る不統一にお
見長問答乞へる但儀に能くは
多少手飯を施すの陣地可有
乞へ存長

三月廿二日

武富時敏

大隈老伯閣下